

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	漆崎 隆	会員番号:	13040	事務局整理記入欄	北海道-102
分水嶺区分:	H110幾寅峠～H109トマム山	(3) 山行日:	2005年1月9～10日	(4) 天候 曇り:	積雪1.5 m		

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

L漆崎 隆	13040						
漆崎 裕子	13041						
鈴木 和夫	13172						
鈴木 貞信	13645						
計				4名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		幾寅最終人家→幾寅峠→P1092→トマム山→トマムスキー場											
アプローチ:		1/9札幌→R274→トマムスキー場→幾寅、1/10 トマムスキー場→JRTマム駅→幾寅→札幌											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	幾寅最終人家	幾寅	142	34	15.51	43	8	32.90	405.0		1/9 11:30		8
分水嶺到達点 H110	幾寅峠	幾寅	142	34	54.83	43	6	30.89	747.0	1/9 14:30	1/10 8:30	B-4	1/9峠テント泊
	P1092	幾寅	142	35	48.23	43	6	13.04	1,093.6	10:54	10:54	B-4	8・10
分水嶺離別点 H109	トマム山	幾寅	142	35	45.74	43	4	42.72	1,236.3	13:44	14:00	B-4	8・10
歩行終了点	JRTマム駅	幾寅	142	36	38.75	43	3	22.47	533.0	15:50			
										総歩行時間(休憩時間を除く)		10時間00分	
										分水嶺距離 4.4km : その他距離 7.5km			

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H109	トマム山	2		不明	積雪のため確認できず。 撰点M44.05.09 名称: 苦鷗山

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

幾寅峠に至る道道は冬期間閉鎖されている。幾寅峠を出発するとまもなく作業小屋があり、さらに進むと落合岳に至る林道と交差する。トマム山山頂部直下はスキー場となっており、リフト終点から山頂までは立ち入り禁止区域となっている。	

(9) 水および植生に関連した特記事項

(10) その他の特記事項

20センチを超すラッセル(吹きだまりは40センチ)と稜線上の猛烈な風に伴う体感温度-30℃超の寒さに悩まされる山行であった。	

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	トマム山を望む

山行報告書(続き)
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



トナム山を望む